

科目名	近代文学講読Ⅱ	
担当者	嶋田 直哉 / SHIMADA, Naoya	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	文学作品は戦争・戦後をどのように描いたのかについて検証する。
	到達目標	文学作品と戦争・戦後の関係をしっかりと考えることができるようになる。
授業計画	(1) ガイダンス 発表の方法・分担 (2) 戦中・戦後文学概観 (3) 三島由紀夫「英霊の声」 (4) 永井荷風「勲章」 (5) 太宰治「待つ」 (6) 梅崎春生「桜島」 (7) 武田泰淳「ひかりごけ」 (8) 大岡昇平「野火」 (9) 原民喜「夏の花」 (10) 林京子「祭りの場」 (11) 野間宏「顔の中の赤い月」 (12) 井伏鱒二「遙拝隊長」 (13) 石川淳「焼跡のイエス」 (14) 椎名麟三「深夜の酒宴」 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	発表者は次の授業時の司会、及び議論の口火を切る質問をしますので準備すること。
使用教材・参考文献	【教】対象作品の文庫本を各自で用意。詳細は初回の授業時に説明する。 【参】授業時に適宜指示する。	
成績評価方法と基準	<基準> 戦争・戦後と文学との関係をしっかりと考えることができれば合格とする。 <方法> 発表50%、レポート40%、受講態度10%	
備考		